

学校図書館の奉仕活動の実践 (第2報)

加藤 貞夫・都築 亨

I ま え が き

学校図書館が学校教育において果さなければならぬ、ダイナミックな活動のあり方を、本研究の第一報として昨年度発表した。その反省に基づき、本年度も引き続いて実践研究をしたその結果をここに報告する。本年度の主なねらいは次の二つに要約される。

①資料センターとしての本校図書館のあり方について。

②学校図書館利用を通じての、読書指導の深め方について。

II 奉仕活動の実践

① 資料センター委員会の設置と、その活動

1, 資料センター委員会を設置するまで

学校図書館は各種の資料の総合センターとして、学校教育の総ての面での資料教材源として、重要な働きを果さなければならない。このことは最近強く要望されて来たことであるが、既に本校図書館でも数年前よりその方向に努力しつつあった。ただ学校内での図書部としての限定された仕事の枠内では、総合的、有機的な働きかけを期待するのは困難であった。より大局に立って、本校図書館の資料センター化をはかる必要を痛感していた。これは、昨年度既にこの準備的な試みとして、例えば古教科書の合本整備、進路資料のファイル化など実施しての体験であった。そして、この構想を本校主催の研究會において「資料センターとしての学校図書館」として発表した。この発表に前後して、本校としての資料センターのあり方について、二回研究會議において討議した。そうして「資料センター委員会」を成立するためには、意外な困難があり、二か月近く再検討の時間を稼いで、ようやくこの委員会の成立をみたのであった。

2, 資料センター委員会の活動

資料センター委員会の目的は、校内の教育研究資料および学習資料の計画的な収集、整備そして保管の組織化をすることとした。構成は実際に活動し易

いように考慮した。即ち、校長、運営委員(1名)、図書部(2名)、視聴覚部(1名)、研究部(1名)として、委員長は図書部長が当った。先ず委員会で話しあわれたことがらば、校内に永久保存しておかねばならない要保存資料の収集であった。各委員それぞれ要保存資料を持ち寄り、第一次資料収集計画一覧表を作成した。これには資料収集管理の責任分担を決めた。例えば、本校の学校新聞については視聴覚部が収集責任を持ち、あわせて図書館の収集管理に協力する形である。要するに直接担当する分掌で収集しておき、保存用は図書館に協力する方法を明確にした点である。いままではともすれば収集保存に統一と一貫性を欠き勝ちであったのが、いくらかでも是正できる基礎となったことは喜びである。本年度の第一次資料収集計画中一応整備できたものを次にあげてみる。

学習指導要領、同指導書、中学高校教科書、同目録、本校および他校寄贈研究紀要、学校概要、大学概要、大学職員録、学校新聞、学校だより、入学・卒業式の生徒代表の式辞、卒業生の記念品目録、校章バッヂ、体育祭などの記念タオル類、対外試合の表彰状、学年アルバム、卒業アルバム、卒業生環境調査書、学園誌、ホームルーム作文集、文芸誌、クラブ誌、修学旅行・臨海・林間学校の記録、優秀読書感想文、生徒作品(絵)、愛知県教育関係職員録など

これらは保存用の印を押して保管し、所要部数を合本して、それぞれ目録を作りつつある。将来は総合目録を作成して行きたい。同時に欠号の補充も行いたいと考えている。今後この委員会のあり方としては、視聴覚資料など広範囲、多方面にわたって力動的な試みをして行きたいと思っている。

② 本校関係資料および郷土資料のコーナーの設置
前述の「資料センター」の第一次収集資料のうち、本校関係資料と郷土資料については読書室の一隅のガラス戸棚に特別陳列を行った。即ち対外試合の表彰状、学園誌、名簿などと、とくに伊勢湾台風の記録物を展示した。その他郷土資料図書、郷土産業図書な

学校図書館の奉仕活動の実践

どもこのコーナーに集めた。さらに郷土の出土品も含め、これらを貴重なそして有意義な資料コーナーとして拡充して行きたいと思っている。

③ 図書館教育の実施計画分担表の作成

よき読書人育成のための図書館教育は、全教科、全学校生活の中で計画的に行われなければならない。このための総合プランとして、先ず文部省方式を参照して、中学校高等学校を一貫して、指導要項の学年配置と、その指導分担を試案した。これによって中学の道徳の時間、高校のホームルームでの読書指導のあり方が重点的に位置づけられたわけである。即ち、図書を選択、読書の技術、わが校図書館の利用、校外図書館の利用などは上述の中を含めた。これからはこのプランに修正を加えて行きたいし、またこれらの指導上の資料の整備、作成にも意を注ぎたいと思っている。

④ 市内公共図書館利用の手びきの作成

前述③の「校外図書館の利用」の指導資料として作成したものである。(その1)は主に生徒が図書館を利用しやすくするためのものであって、名古屋市内公共図書館のうち次にあげた諸館の特色、休館日、利用法などを中心に手びきをしたものである。

名古屋市立栄図書館、同鶴舞図書館、同熱田図書館、名古屋アメリカ文化センター、愛知図書館を対象とした。

(その2)は主に教官の教育研究用の便宜のために調べたものである。即ち名古屋大学附属図書館、同教育学部図書室、愛知県教育文化研究所図書室、名古屋市教育館教育課程文庫、名古屋市教育映画協会および愛知県フィルムライブラリーを対象とした。今後は、これらの図書館と密接な連絡によって、生徒指導上および教育研究上の資料の相互貸借の便を、図書館の奉仕活動の一環としてやって行きたいものだと考えている。なお、(その1)の方の各図書館のパンフレット類は、本校中央廊下の展示戸棚(視聴覚部所管)に、「公共図書館利用の案内」として展示した。

⑤ 学習参考書推せん目録の作成

昨年度は英語科、数学科についての学習参考書推せん目録を発行したが、本年度は、国語科、社会科、理科の三教科について実施した。方法は昨年と同じで、書店から学習参考書を借り受けて、それぞれの教科の教官の協力によって行った。ことしは、処理に便利になるように、カードを作っておいてこれに推せん理由などを記入してもらうようにした。又一昨年度から、卒業生に対して図書(主に学習参考書)の寄贈運動を行っている。段々と趣旨が徹底されてか、卒業生からの学参書の寄贈が増加し、本年現在までに166冊に達し

ている。

⑥ 良書百選の第4訂版の発行

本校の良書百選中学用および高校用は昨年度も改訂したが、本年も同様再検討を加えた。本年5月に良書百選についての読書調査を全校生徒に実施した。その結果を参照して、全教官から改めて再推せんをもらい、それらの結果を総合して、あまり関心のない推せん書を中心にしぼって入れ換えをはかってみた。そうして夏休み直前に全員に配布して、休み中の読書の指針とした。「百選棚」にこれらの図書を集めて利用しやすくしたことは昨年と同様である。感じたことであるが、百選の改訂のために、百選を見直すこと自体に大いに意味があると思った。今後は、この百選からはずれた良書、教科と関係のある教養書など、広く読書資料の枠づけ位置をはかり、洪水のように氾濫している図書の中から良書適書の埋没を防ぎ、積極的に光を当てて行きたいと思う。このために「学校図書館利用の手びき」をまとめたいと考えている。

⑦ 読書感想文コンクールの実施

読書週間の行事として、第1回読書感想文コンクールを実施した。このために、全教官より推せん図書を1~2冊出してもらい、これを印刷全校生徒に配ると同時に、高校生には〈「100冊の本」岩波文庫より〉を書店から寄贈してもらい同様配布した。応募感想文の優秀な作品は個人賞と団体参加賞で個人とで表彰した。なお、優秀作品は製本して図書館の永久保存とした。

反省としては、コンクールの呼びかけが遅れて、中3、および高2、3の応募作品がなかった。今後は夏休みくらいから計画して、じっくり読んだ読後感を提出させるように仕向けたい。そしてまた、校内コンクールが青少年読書感想文コンクールの予選となるようであれば、なお好都合である。本年は青少年読書感想文コンクールには別に選んだ9篇(高2)を初出品した。

⑧ 生徒図書委員会の活躍

本校の図書委員は委員制とクラブ制の折衷方式であって、各級より2名プラス希望者で構成している。図書委員の主な任務は図書の貸出事務とそのホームルームへの連絡である。自由に貸出しをしているので、返却がルーズになり勝ちである。そこでとくに返却方法について、いろいろ調査研究をした。結論としては、図書委員の当番勤務が先ずしっかりしなければならないことになった。このため、校内放送を利用して、偉人などの一言集を放送してから当番の委員名をアナウンスして、断えず注意を促すように工夫している。こ

のようになったのは、図書委員の研究集会参加とか他校見学が大きく自発性への刺戟となっているようである。今後は図書委員へもっと関心を持って行きたいと思っている。

⑨ 卒業生の読書会

卒業生6～10人が毎月第2日曜日に本校図書館の資料室で読書会を開いている。これは在学中から続けられていたことの発展であるが、大学など進学してバラバラになった友達が、読書を中心に母校図書館で集りをもつようになったことはよろこばしい。非常に有意義だと洩らしており、今後もこのような心のふるさととしての学校図書館の役割を果たして行きたいと願っている。

⑩ その他雑多な歩み

臨海文庫, 母親文庫も昨年に引き続き実施している。保護者より Collier's Encyclopedia, 国民百科事典および園芸関係の図書(死亡生徒の遺族より)など寄贈を受けるようになった。室の整備については、仏面(飛鳥, 天平, 白鳳時代)の展示, スチール書架の延長整備, 部屋使用標示板などの製作, 電気時計のとりつけ

などがあげられる。また卒業生へは「校長先生の言葉」と共に読書記録を本年も送ることになっている。

Ⅲ あ と が き

学校図書館が学校における読書指導の基地として、十分な働きができるようあれこれ、手あたり次第に手がけては失敗、失敗の連続である。しかし、こんこんと湧き出る底しらぬ泉のほとりに立たずんで、また新たなる希望を感じる。その希望(今後の問題)を列挙すれば次の如くである。

- ①NDC改訂7版による再分類の実施。
- ②「学校図書館利用の手びき」の作成。
- ③資料センターとしての学校図書館のあり方
- ④生徒図書委員の指導
- ⑤卒業生・保護者と学校図書館との結びつき

おわりに本研究のため終始よき協力者として実際の仕事に励んで下さった文部事務官の杉浦三良氏と司書補の萩野逸子嬢ならびに小倉佐智子嬢に感謝の意を表したい。

図 書 館 教 育 実 施

	1 図書の意義と歴史	2 図書の構造と取扱	3 図書の生産と配給	4 図書の選択
中 一		T. 図書の規格構造を知る。 T. 図書の各部の機能を知る。 T. 図書の取扱い方を知り、愛護する態度を養う。 T. 図書の修理や研究物の製本技術を身につける。		T. K. K. H. 図書選択の基準と方法について理解する。
中 二	R. S. 紙の発明、印刷の歴史について理解する。	T. 図書の各部の機能を理解し活用する態度を身につける。 T. 研究物を製本する。 T. 図書の正しい取扱を理解し図書受渡の心得を養う。		H. 自分の能力に応じた図書を選ぶ力を養う。 H. 図書の良否を判別できるような知識を身につける。
中 三	K. 図書の歴史を理解する。 K. 図書の意義について考えさせ図書を愛護する心を養う。	T. 図書の構造をじゅう分理解してその構造に応じた取扱に慣れる。 T. 図書の機能をよく知って利用する方法に慣れる。	S. 図書がどのようにして生産されるかを理解する。 S. 図書はどのような経路を通して個人の手へ渡っていくかを知る。	H. 図書を選定する能力を身につける。 H. 資料を有効に利用する技能を身につける。
高 一	K. 図書の意義を理解する。	T. 図書の構造を理解し、正しい取扱の態度を養う。	S. 図書の生産過程と配給について知る。	H. 学習の効果を上げるようなよい参考書が選べるようになる。 K. よい文学作品を読む。
高 二	K. 図書の歴史を理解する。	T. 図書の正しい取扱の態度を養う。		H. 学習の効果を上げるようなよい参考書が選べるようになる。 K. 古典のよさがわかる。
高 三		T. 図書の正しい取扱の態度を養う。		H. 学習の効果を上げるようなよい参考書が選べるようになる。 H. 心のかてとなるような本を選べるようになる。 H. 将来の進路を考えるに役だつような本を選べるようになる。

(注) T. …… 図書館 H. …… H R S. …… 社 会 F. …… 保 健 K. K. …… 各 科
V. …… 読 書 K. …… 国 語 R. …… 理 科 E. …… 英 語

一 般 研 究

計 画 分 担 表

名古屋大学教育学部附属学校図書館

5 読書の技術	6 読書衛生	7 辞典、事典、図鑑および年鑑の利用
<p>K.H. いろいろな読書法を知り、その技術を身につける。 K.索引、目次、注の使い方に慣れる。 K.K.読書ノートや読書録の使用法になれる。 K.K.読書会に参加する態度を養う。 K.K.計画的、継続的に読書する態度を養う。</p>	<p>F.読書衛生を科学的に考える。 F.自主的に読書衛生に注意する態度を養う。</p>	<p>K.E. 国語、漢和、英和辞典の利用になれる。 S.R. 百科事典の種類、構成を知り利用になれる。 S.R. 年鑑、図鑑の種類、構成を知り利用になれる。</p>
<p>K.H. 計画的に読書する態度と能力を養う。 K.H. いろいろな読書法を知り、その技術を身につける。 K.H. 読書の内容を適確にまとめ、記録する能力を養う。</p>		<p>K.E. 辞書、事典、図鑑などの種類、構成を知り、利用の技術を身につける。 S.R. 百科事典の特質を理解し、その利用の技術を高める。</p>
<p>H.いろいろな読書法を知り、読書の技術を身につける。 H.読書録や読書ノートの使い方になれる、読書会に進んで参加する態度をつける。</p>		<p>K.辞書の構成、種類とその使用について理解する。 S.R. 百科事典、事典によって求める主題を正確に解決する習慣を養う。 S.R. 目的に応じた辞書、事典の利用法を身につける。</p>
<p>K.K. 索引の利用に慣れる。 K.K. 読書の習慣を身につける。 K.S. 文学作品の中に人生の問題をみつけて考える。</p>	<p>F.読書環境を整備する。 F.特に照明と読書の関係を知る。</p>	<p>S.R. 辞書の引き方を反省し能率的に引けるようにする。 S.R. 図書館にある百科事典の特长を知り利用できる。 S.R. 図鑑、年鑑などが適切に利用できる。</p>
<p>H.今までの読書のあとをふりかえって、これからの読書計画を立てる。 K.S. 文学作品の中に人生の問題をみつけて考える。</p>	<p>F.読書環境を整備する。 F.特に照明と読書の関係を知る。</p>	<p>S.R. 辞書、事典、図鑑、年鑑などが学習に利用できる。</p>
<p>H.読書によって人生の問題を掘り下げる。 K.本の批評をする。</p>	<p>F.読書環境を整備する。 F.特に照明と読書の関係を知る。</p>	<p>S.R. 辞書、事典、図鑑、年鑑などが学習に利用できる。</p>

学校図書館の奉仕活動の実践

	8 図書以外の資料の利用	9 図書館の意義と歴史	10 図書館の組織と機能
中 一	S.新聞記事の正しい読み方と利用法を身につける。 H.雑誌の読み方と利用法を身につける。 T.ファイル資料の選択収集の方法について知る。整理法を身につける。利用法になれる。	K.図書館の性格について理解する。 K.図書館の発達と現状について知る。 K.図書館の種類とその大要について知る。	T.図書館の組織と機能について知る。 T.図書館の運営について理解し、協力の態度を養う。
中 二	K.S.新聞、雑誌の正しい読み方とその利用法を身につける。 V.ファイル資料、レコード、幻灯の利用法を理解する。	K.図書館の発達の歴史を知る。	T.図書館の運営について理解し、協力の態度を養う。
中 三	S.新聞、雑誌の読み方を知り、その利用の方法を学習する。 T.V.ファイル資料の活用、幻灯、レコードを積極的に利用する態度を養う。	K.図書館の発達の歴史を知る。 K.図書館の意義について理解し、その利用の態度を養う。	T.図書館の運営について理解し、協力の態度を養う。 T.図書館の機能を理解する。
高 一	S.新聞、雑誌の読み方になれる。 R.ファイル資料、レコード、スライドなどの利用になれる。	K.学校図書館の意義を理解する。	T.図書館運営の組織を知る。 T.図書委員の組織と活動を知る。
高 二	S.新聞、雑誌を学習に利用することができる。 R.ファイル資料、レコード、スライドなどを学習に利用することができる。	K.図書館の歴史を知る。	H.図書委員の活動を理解し、これに協力する。
高 三	S.新聞の記事構成を理解し、新聞の種類と特徴を知る。 R.ファイル資料、レコード、スライドなどによって学習の効果をあげることができる。		

11 図書の分類と目録	12 図書館利用のエチケット	13 わが校の図書館と学級文庫	14 校外図書の利用
<p>K.N.D.Cの組織，構成について理解する。 K.自校図書館の配列について理解する。 K.目録の意義と種類を知り，利用法を身につける。</p>	<p>K.T. 学校図書館の規則を理解し，積極的に守る態度を養う。 K.T. 閲覧手続を理解する。 K.T. 館内のエチケットを自主的に実践する態度，習慣を養う。</p>	<p>T.図書館資料の種類と所在を知る。 T.施設と備品を理解し，利用法に慣れる。 T.図書館の改善と発展に関心をもつ。</p>	<p>H.近隣の他校図書館資料の概略を知る。 H.地域社会の読書施設を知り，その利用に慣れる。 H.友人および蔵書家の図書資料について知る。</p>
<p>K.目録の種類を知り，利用する方法を知る。</p>	<p>K.学校図書館</p>	<p>H.学校図書館と学級文庫の関係を理解する。 H.学級文庫を自主的に整理する態度を養う。</p>	<p>H.公共図書館の利用の仕方を理解する。</p>
<p>T.図書の分類と目録との関係を知り，いろいろな目録の利用の方法を理解する。</p>		<p>H.T. 自校図書館の組織の運営に自主的に参加する態度を養う。 H.学級文庫を自主的に充実する態度を養う。</p>	<p>H.公共図書館の利用の仕方を理解する。</p>
<p>K.分類の意義とN.D.Cのしくみを理解する。 K.T. 目録の意義，種類等を知り目録が利用できる。</p>	<p>T.図書館のきまりをよくまもる。 T.書架を乱さないように気をつける。</p>	<p>H.わが校図書館にどんな資料があるかを知り，その利用になれる。</p>	<p>H.公共図書館を利用する。 H.友人および蔵書家の図書を利用する。</p>
	<p>T.図書館のきまりをよくまもる。 T.書架を乱さないように気をつける。</p>	<p>T.わが校図書館資料の総合的利用になれる。</p>	<p>H.公共図書館を利用する。 H.友人および蔵書家の図書を利用する。</p>
		<p>T.わが校図書館の改善と発展に関心をもつ。</p>	<p>H.公共図書館を利用する。 H.友人および蔵書家の図書を利用する。</p>

36. 10. 現在

	名古屋市栄図書館	名古屋市鶴舞図書館	名古屋アメリカ文化センター									
創立年	大正11年(1922年)	大正12年(1923年)	昭和23年(1948年)									
場所 (電停)	東区武平町5～3(武平町)	昭和区鶴舞公園内(鶴舞公園)	中区市場町(大津橋)									
電話	☎1740	☎0224・1034	☎5123									
図書館の特色	<p>児童よみものから中学、高校さらに短大程度までの図書が重点的に集められ、雑誌も児童ものから週刊誌まで沢山ある。とくに自動車3台による巡回文庫はこの図書館の特色で、図書館と家庭を結ぶサービスに努めている。また教科書センターとなっている。</p> <p style="text-align: right;">蔵書 21万冊</p>	<p>やゝ高度の内容の資料をめざした図書館で、とくに科学技術の資料に重点がおかれ、化学工業、原子力関係の資料がある。その他郷土の貴重な資料など、むかしの新聞や雑誌が数多く集められている。また教科書センターとなっている。</p> <p style="text-align: right;">蔵書 18万冊</p>	<p>英語で書かれた図書が9割を占め、小じんまりとした図書室の中にアメリカで出版された辞書、事典をはじめ、絵本にいたるまであらゆる分野にわたって集められており、すべて開架式で気安く図書に接することができる。団体貸出、録音テープ、レコード貸出も行っている。</p> <p style="text-align: right;">蔵書 1万冊</p>									
分類目録	N D C 分類目録 著者目録 書名目録	N D C 分類目録 著者目録 書名目録	DC著者、書名、件名目録の 一緒になった辞書体目録									
休館日	毎週木曜日、25日、国民の祝日、年末年始、4月19日(創館記念日)、虫干し4月	毎週水曜日、毎月末、国民の祝日・年末年始、10月1日(創館記念日)、虫干し4月	毎週日曜日、日米両祭日									
開館時間	午前9.00～午後9.00	午前9.00～午後9.00	午前9.30～午後6.00									
閲覧室	別に閲覧室を区別していないが、児童生徒室(小、中)がある。	児童室、学生室、成人室、科学技術資料室など	1室のまわりに本が並んでいる。									
閲覧、貸出方法	<ul style="list-style-type: none"> ○無料 ○児童生徒のみ父兄と担任印のみでよい。 ○一般貸出は学生証と保証金300円をあずける。 ○図書は一度に2冊まで ○期間10日間 ○児童室 <p>平日、午後1時から5時まで 日曜日、午前9時から午後4時まで</p>	<p>左に同じ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p style="text-align: center;">公共図書館利用心得 (その1)</p> <p>1. わからないことはどしどし係の方にたずねる。</p> <p>2. 静かにする。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○学生証で登録票にサインするこの登録票で貸出ができる ○無料 ○図書は一度に2～3冊 ○期間 <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>図</td> <td>書</td> <td>2週間</td> </tr> <tr> <td>雑</td> <td>誌</td> <td>1週間</td> </tr> <tr> <td>録</td> <td>音テープ</td> <td>1週間</td> </tr> </table>	図	書	2週間	雑	誌	1週間	録	音テープ	1週間
図	書	2週間										
雑	誌	1週間										
録	音テープ	1週間										

この他蓬左文庫(尾張藩に関する資料)、商工会議所図書館(特許資料)がある。

利 用 の 手 び き (その1)

名古屋大学教育学部附属学校図書館

愛 知 図 書 館	名 古 屋 市 熱 田 図 書 館	
昭和34年 (1959年)	昭和35年 (1960年)	
東区久屋町 8～8 (武平町)	熱田区新宮坂町 3～44(神宮東門)	
㊦ 5 5 1 1	㊦ 6 6 0 0	
<p>愛知県下の産業，工業の発展のために，ことに中小企業者のための図書館として産業資料が重点的に集められている。また参考事務といて積極的に質問に応じている点は異色である。さらに愛知県内の郷土資料の収集も行っているが，純小説類はおいていない。設備は冷暖房つきである。</p> <p style="text-align: right;">蔵書 9万冊</p>	<p>名古屋市南部の地域市民の教養向上のために設けられたもので，とくに地域との結びつきを重視して産業資料などの集書にも注意がはらわれている。すべて開架式で，神宮の静かな森の中にあり環境はよい。陳列展示会を常時行っており，「ライブラリーあつた」（無料配布）を発行している。</p> <p style="text-align: right;">蔵書 1万冊</p>	
N D C 分類目録 著者目録 書名目録	NDC (書名目録，著者目録があるが未公開)	
毎週金曜日，15日，国民祝日， 年末年始，虫干し 4月	毎週火曜日，20日，国民の祝日， 年末年始，9月1日(創館記念日) 虫干し 4月	
午前9.00～午後8.00	午前9.00～午後8.00	
参考室，産業資料室，郷土資料 室，研究室	一般，参考，児童室、定席数370	
<ul style="list-style-type: none"> ◦館外貸し出しは行っていない。 ◦複写(実費)によるサービスは行っている。 ◦入館は高校生以上。 	<ul style="list-style-type: none"> ◦館外貸し出しは行っていない。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">公共図書館利用の心得 (その2)</p> <p>3.書きこみ，アンダーラインなどしない。</p> <p>4.場ふさぎをしない。</p> </div>	

36. 11. 現在

	名古屋大学附属図書館	名古屋大学教育学部図書室	愛知県教育文化研究所図書室
創立年	昭和6年(1931年)	昭和24年(1949年)	昭和23年(1948年)
場所 (電停)	中区南外堀町(大津橋)	中区南外堀町(大津橋)	千種区城山町2~90(城山)
電話	⑨41711代(運用掛へ)	⑨41711代(教育図書室へ)	⑦3 2 7 7 0
係長	都築円太郎	藤原晴男	羽澄英治
図書館の特色	<p>名大各学部図書館の中心として存在し各学部所在の図書目録をすべてもち、全学の資料の中核となっている。辞書、事典類は各国のがあり、雑誌、新聞なども内外共主要なものはすべて集められ「名大雑誌目録」および「東海地方所在産業開発関係科学技術文献総合目録」などで学内外の相互貸借も行っている。</p> <p style="text-align: right;">全部で 52万冊</p>	<p>本部図書館の分室になっており、教育関係の図書が中心に集められている。教育研究資料が積極的に集められ、とくに教育史関係の古書、文献なども数多く集められているものである。</p> <p style="text-align: right;">蔵書 2万冊</p>	<p>教育関係の図書に集められてあり県下および県外から送られてくる教育研究物約5,000点が科目別に(県内は)おかれ県外のは県別に整理され、とくに資料論文目録と雑誌論文目録の件名索引が昭和24年頃から作成されており毎夏の研修会にはよく利用されているようだ。資料分類は特別に作成されている。又、教科書センターとして、戦後発行の教科書がある。</p> <p style="text-align: right;">蔵書 7,000冊</p>
分類目録	N D C 分類目録 著者目録 書名目録	左に同じ	N D C 分類目録 著者目録 書名目録 資料は別目録
休館日	日曜、土曜午後 5月1日(8月1日~8月31日 12月25日~1月7日)	左に同じ	日曜 土曜の午後
開館時間	午前9.00~午後5.00	左に同じ	左に同じ
閲覧、貸出方法	<p>館内閲覧は誰でもできる。個人貸出は大学の職員、生徒の身分証明書を出す。</p> <p>教官 30冊 60日 10冊 30日以内</p> <p>生徒 2冊 7日以内</p> <p>図書の謄写、撮影についても実費でできる。</p>	<p>貸出閲覧については本部図書館に準じて行われる。</p>	<p>図書については1人2冊以内。2週間の期限で貸出が行われているが、研究資料については館内閲覧だけとなっている。資料案内は同所発行の「研究所通信」によっている。また「愛知県内教育資料目録」を発行している。</p>

利 用 の 手 び き (その2)

名古屋大学教育学部附属学校図書館

名古屋市教育館	名古屋市教育映画会	愛知県視聴覚教育係 フィルムライブラリー
昭和22年(1947年)	昭和4年(1929年)	昭和23年(1948年)
中区南外堀町6~1(景雲橋)	左に同じ	中区南外堀町(大津橋)
②1953・1954	②1956	④1651代
佐野安男	佐藤敬一	伊藤信夫
戦後東海地方に設けられた教育課程文庫が中心となっており、アメリカの教科書、教育書などの寄贈資料が多い。市内を中心に全国から寄贈されてくる教育研究資料をNDCに準用した分類で整理されている。また教科書センターとして、戦後発行の教科書なども豊富に集められていることも特色である。 蔵書 2.6万冊	名古屋市立小中校に対して、映画フィルム、幻灯フィルムを始め視聴覚教具の貸出しを目的として設けられ、会員は現在名古屋市立小中学校198校である。 トーキーフィルム750本、幻灯フィルム1,747本、映写機、暗幕など。	社会教育関係のフィルムを中心に集められており、主なる内容は劇映画、短篇の風景、記録、青年団活動などで会社、青年団、学校などの貸出が多い。各地方事務所にもライブラリーの分室がある。 1,000本
NDC 分類目録 著者目録 書名目録 資料は別目録	特別の目録	左に同じ
日 曜 土曜の午後	左に同じ	左に同じ
午前9.00~午後5.00	左に同じ	左に同じ
館外貸出は新館建築まで休止している。 館内閲覧はできる。 資料案内は同館発行の「教育月報」(年6回)によっている。	貸出期間は5日、貸出予約の受付は10~2日前までに。 貸出は無料。 トーキーフィルムは1回につき9巻以内など貸出数量がきめられている。 「映協」(学期毎)機関誌を出している。	貸出はすべて無料。 団体対象であって映写機を登録して、県の16ミリ映写機操作免許証をもっていることが条件になっている。 貸出期間は5日間。 「フィルム目録」単行本あり。

学習参考書推せん書目 (特).....特 (対).....対象学 (使).....使い (難).....難 (その2) (36. 11. 2)

国 語 科		社 会 科	
14	小西甚一 古文研究法 洛陽社 ¥250 (特)解説ていねいで、わかりやすく興味深い文章。(対)高2,3 (使)非常に読みやすい。(難)普	1	吉田精一校閲 一年の国語 旺文社 ¥130 (特)写真や図はんが多く、学習に興味を持たせるようくふうしてある。(対)中1 (使)予習復習(難)易
15	中西 清 初歩の漢文 昇竜堂 ¥280 (特)漢文の基礎的な知識を平易に説明している。(対)高低 (使)気軽にどんどん読んでいけばよい(難)易	2	石井庄司 テーブル式中学生国語便覧 評論社 ¥380 (特)内容がくわしく説明してある。(対)中2.3 (使)家庭の参考書(難)普
16	保坂弘司 漢文の総合研究 学燈社 ¥350 (特)漢文学習に必要な十分な整理のされかたである。受験向。(対)高学 (使)編をおって考えながらよみ、解答はなるたけみないようにする。(難)普	3	石井庄司 テーブル式学習とまとめ、中学生の国語 評論社 ¥150 (特)学習事項をすべて表にまとめ、下段に解説があって整理に役立つ。(対)中3 (使)総復習(難)普
17	内野熊一郎 研究漢文 清水書院 ¥480 (特)基礎から徹底的に考究して一応完成する。余領域にわたっている。(対)高高学 (使)少しむずかしいかもしれないが中途でやめなくて読了すること。(難)普	4	三好稔、堀芳夫 国語 自由自在 受験研究社 ¥260 (特)内容くわしい、又実力問題、整理問題などが豊富にあって応用力の養成に役立つ。(対)中3 (使)予習、復習(難)普
18	浅尾芳之助 学習・受験 枕草子 日栄社 ¥210 (特)文法事項がくわしく、説明がていねい。(対)高2,3 (使)学習参考書、受験用(難)普	5	坂本 浩 現代文の読解法 旺文社 ¥250 (特)現代文の学習を科学的にしたらという態度がよい。(対)高 (使)短期間に読み終える方がよいのではないか。(難)易
19	平林治徳 新選評釈 枕草子 啓林館 ¥280 (特)鑑賞文に多くのページを使ってあるので興味ぶかくよめる。(対)高3 (使)学習の参考に。(難)普	6	石井庄司 テーブル式国語便覧 評論社 ¥380 (特)国語のあらゆる部門の問題を辞書的に整理してある。(高) (使)学習の折、常に参照するのに適す。(難)普
20	峯村文人 徒然草の研究 続文社 ¥300 (特)要点を適確に示している。問題も多く自習を促しててよい。(対)高1,2 (使)読みやすい。(難)普	7	阿部喜三男 学習・受験 現代文 日栄社 ¥180 (特)受験問題解説が中心。(高) (使)答を見る前に自分でやってみよう。(難)難
21	富倉徳次郎 評釈 徒然草 解釈と文法 旺文社 ¥350 (特)参考記事があって、学習参考に役立つ。(対)高1,2 (使)予習、復習(難)普	8	保坂弘司 現代文の総合研究 学燈社 ¥370 (特)ジャンル別に問題解説の形で書かれている。(対)高 (使)落ち着いた読みねばならないだろう。(難)難
22	麻生磯次 芭蕉 その作品と生涯 山田書院 ¥260 (特)芭蕉の人格の生長を通してその作品を学習し、教養に役立てようとしている。(対)高 (使)副読本的な気軽な感じで読めよう。(難)普	9	小西甚一 国文法のちかみち 洛陽社 ¥250 (特)肩こらず楽しく文法を学べる(まとめ)の欄あってよい。(対)高1,2 (使)容易になるように工夫されている(難)普
23	岩田九郎 芭蕉の俳句 俳文 旺文社 ¥130 (特)芭蕉のすべてを網羅している。(対)高 (使)受験の為の参考書としては親切。(難)易	10	谷山 茂 一日一題 国文法の研究 三省堂 ¥280 (特)総合篇(文章解釈篇)がよく出来ている。(対)高2,3 (使)二段になっていて読みやすい。(難)普
24	浅野芳之助 奥の細道の新解釈 有精堂 ¥280 (特)芭蕉の一作品を取り上げて細かに解釈している。(対)高 (特)古文解釈の学習と目的に作品全体に行きわたっている作者の詩心にふれることができる。(難)難	11	松尾聰編 資料国文学史 清水書院 ¥320 (特)事典と概説を兼ね備えた便利なもの。(対)高 (使)そばにおきたえず利用すればよい(難)普
社 会 科		12	保坂弘司 国文学史の総合研究 学燈社 ¥250 (特)体系と事項がおぼえやすい。(対)高2,3 (使)ザラ半紙に項目をまとめ、おぼえながら読みこむこと。(難)普
		13	今井卓爾 古文解釈法 数研出版 ¥350 (特)文法中心である。古文にはやゝ不適。(対)高2,3 (使)文法の参考書として使用。(難)普
		1	山鹿誠次 中学地理精解 金子書房 ¥250 (特)よくまとめている。親切。(対)中1 (使)整理、復習に適。(難)普
		2	中川浩一 中学社会学習の友 大修館 ¥330 一地理編一 (特)学習参考書としては非常にすぐれている。(対)易 (使)授業にも利用できる。

3羽生 敦 中学歴史精解 金子書房 ¥300 (特)やさしく、わかりやすく叙述している。 (使)予習、まとめ。 (対)中2,3 (難)易	6福本喜繁 物理計算 旺文社 ¥100 (特)計算問題をとく力をつけるに適している。 (使)一冊じっくり読むこと。 (対)高2,3 (難)普
4手塚忠則 もっともくわしい中学生の社会 千代田書房 ¥350 (特)くわしく、内容もよく精選されている。 (使)家庭での復習総まとめ。 (対)中3 (難)普	7溝口仁三郎 物理精解 教育書籍 ¥180 (特)問題の解き方、要領がわかる。 (使)大学受験用。 (対)高2,3 (難)普
5安藤良雄・高野雄一 社会 学生社 ¥380 (特)高い内容を易しい叙述でのべている。 (使)家庭でのまとめ、サブテキスト。 (対)高3 (難)普	8若桑光雄 高校の物理上、下 培風館 ¥230 (特)例題が精選されている。やや高度。 (使)じっくり仕上げること。 (対)高2,3 (難)難
6川又 昇 社会の研究 旺文社 ¥380 (特)要領よくまとめている。 (使)総復習 (対)高3 (難)易	9依田 修 高校生の化学 培風館 ¥330 (特)化学に興味をもって学習できる。 (使)高校で初めて化学を学ぶとき。 (対)高2 (難)普
7井上光貞 日本史 学生社 ¥380 (特)内容も高度でよくまとまっている。 (使)教科書を補うもの。よみもの。 (対)高2,3 (難)普	10白井俊明 高校課程化学 裳華房 ¥340 (特)教科書の解説と基礎的問題がある。 (使)家庭での復習用。 (対)高2 (難)普
8小沢栄一・高井浩・小田泰正 資料日本史 清水書院 ¥450 (特)史料とともに述語の解説が多い。 (使)ハンドブック式使用。 (対)高2,3 (難)普	11塩見賢吾 化学 学生社 ¥380 (特)有機化学の解説がよい。 (使)有機化学を専門とする方面に進むとき。 (対)高3 (難)詳細である。
9秀村欣二 世界史 学生社 ¥380 (特)くわしいが平易な叙述をしている。 (使)家庭でのまとめ。 (対)高1,3 (難)普	12武村琢美 テーブル式化学便覧 評論社 ¥380 (特)表で知識をまとめてある。 (使)復習、受験用。 (対)高2,3 (難)やや高い
10木村正雄 精解世界史 昇竜堂 ¥450 (特)項目的に要領よくまとめている。 (使)総まとめ (対)高3 (難)普通	13安藤 暹 化学の研究 旺文社 ¥380 (特)重要事項を77組など能率化がはかられている。 (使)受験用。 (対)高2,3 (難)詳細
11青野寿郎 大学教養人文地理 森北出版 ¥280 (特)内容は高校でも使え非常によい。 (使)より深くしらべる。 (対)高2,3 (難)やや難	14津田 栄 化学計算問題の解き方 旺文社 ¥100 (特)計算問題の解き方を学ぶによい。 (使)受験用。 (対)高2,3 (難)詳細
12浅香幸雄 人文地理研究 續文堂 ¥320 (特)よくまとまっている。 (使)生徒の復習整理によい。 (対)高 (難)普	15津田 栄 化学実験法 旺文社 ¥120 (特)実験上の注意。 (使)実験の参考に。 (対)高2 (難)普
13幸田清喜 最新人文地理研究 金子書房 ¥340 (特)内容がよく精選されている。 (使)教科書の補習。 (対)高 (難)普	16高岡 実 生物精義 三訂版 培風館 ¥390 (特)独特な図版と実験の取り扱いに著者の苦心があらわれている。 (使)余ゆうのある人は高校生物演習(培風館)との併読に効果がある。 (対)高 (難)普
理 科	
1三省堂編 わかりやすく実力をつくり理科の教室(1,2,3年用) 三省堂 ¥150 (特)質問と答がよい。分冊で使いやすい。 (使)教科書傍用。 (対)中1,2,3 (難)普	17印東弘玄 生物の総合研究 学燈社 ¥390 (特)広範囲にわたり、比較的平易に述べている。図が大きいのも便利。 (使)実験編、整理編があるので、これを活用しながら読んでいきたい。 (対)高1,2 (難)普
2入来重盛他 テーブル式理科 評論社 ¥320 (特)テーブル式によくまとめてある。 (使)まとめるのによい。 (対)中1,2,3 (難)普	18沼野井春雄 生物の研究 旺文社 ¥380 (特)字がすこし小さいが、図版も多く多角的に記述されている。特に生理がくわしい。 (使)入試対策には相当意をそそいでいるので、問題演習をかねて勉強するとよい。 (対)高 (難)普
3長谷川三郎 ひとりで学べる中学生の理科の先生 昇竜堂 ¥430 (特)説明のしかた、まとめ、図などよい。 (使)教科書傍用。 (対)中1,2,3 (難)やや難	19森脇大五郎・中島雄次郎 精説生物学 千代田書房 ¥350 (特)内容は非常にくわしく程度も高い。とりあげられている例が豊富なので、突込んで生物を勉強しようとする者に適している。 (使)じっくり腰を落着けて読むと興味がわいてこよう。 (対)高 (難)難
4中込八郎 物理根底500題 聖文社 ¥290 (特)比較的基礎問題がととのっている。 (使)教科書傍用。 (対)高2,3 (難)易	20松沢武雄他4名 地学の研究 旺文社 ¥300 (特)わかりやすく解説してある。 (使)教科書傍用によい。 (対)高1.3 (難)普
5池本義夫 物理計算問題の新研究 洛陽社 ¥180 (特)問題をとくのにわかりやすい。 (使)とにかく一冊全部よむこと。 (対)高2,3 (難)普	

書名	著者	書名	著者
哲学・宗教		哲学・宗教	
1. ギリシャ・ローマ神話	バルフィンチ	41. 電灯の話	小林秋男
2. 君たちはどう生きるか	吉野源三郎	42. 蚊のいない国	細井輝彦
3. 友情	羽仁説子	43. 星座と伝説	山本一清
4. 原爆の子	長田新	44. 金属の話	飯高一郎
5. 心に太陽をもて	山本有三	45. 脳的生活物語	コセンコ
6. 少年少女のための論理学	沢田允茂	46. 日本の稲	松尾孝嶺
7. 考えること生きること	古谷綱武	47. 研究する子供たち	高森敏夫
8. 後世への最大遺物	内村鑑三	48. ろうそく物語	ファラデー
9. ヨルダンの流れ	小出省吾	49. 原子力の話	佐々木宗雄 他
歴史・地理		50. 渡り鳥	内田清之助
10. 世界をまわろう (上, 下)	ヒルヤー	51. 洪水の話	安芸皎一
11. わたくしたちの国土	成田忠久	52. 日本の動物記	今西錦司
12. 世界の子ども1 (総説)	平凡社	53. 科学と実験の歴史	テイラー
13. 綴方風土記(別巻)日本の国土	平凡社	芸術・体育・語学	
14. 人間の歴史	イリソン	54. エヴェレストをめざして	ジョンハント
15. マルコ・ポーロ旅行記	中沢公平	55. オリンピックの話	鈴木良徳
16. 黄河の水	島山喜一	56. バレーボール	前田豊
17. 大昔の人の生活	和島誠一	57. バスケットボール	牧山圭秀
18. 日本人はどれだけのことをしてきたか	岩村忍	58. 登山教室	海野良治
19. 埋もれた世界	A・ホワイト	59. 遊びのいろいろ	垣内芳子
20. キュリー夫人伝	白木茂	60. ことばの四季	金田一春彦
21. ガンジー伝	イトン	文 学	
22. 野口英世	高山毅	61. 坊っちゃん	夏目漱石
23. 日本人の祖先	長谷部言人	62. 三四郎	〃
24. 豊臣秀吉	桑田忠親	63. 路傍の石	山本有三
25. 福沢諭吉	奥野信太郎	64. 真実一路	〃
26. レオナルド・ダ・ヴィンチ	勝見勝	65. 次郎物語	下村湖人
27. 昆虫と暮らして	フェアブル	66. 山椒太夫	森鷗外
28. ベートーベン	黒沢隆朝	67. 二十四のひとみ	壺井栄
29. 地図の話	武藤勝彦	68. 鼻・くもの糸	芥川竜之介
社 会		69. 風の又三郎	宮沢賢治
30. わたくしたちの憲法	宮沢俊義	70. あにいもうと	室生犀生
31. 人間の尊さを守ろう	吉野源三郎	71. 一房のぶどう	有島武郎
32. 民主主義のはなし	戒能通孝	71. 破 戒	島崎藤村
33. 子供の暦	児童文学者協会	73. ビルマの竖琴	竹山道雄
34. なぞとことわざ	柳田国男	74. にあんちゃん	安本末子
数学・理科		75. 非凡なる凡人	国木田独步
35. 数学物語	矢野健太郎	76. 台風の子	光文社
36. ニューパズル	藤村幸三郎	77. 友 情	武者小路実篤
37. 数に語らせる	増山元三郎	78. 少年の日	坪田譲治
38. 海流の話	日高孝次	79. のんちゃん雲にのる	石井桃子
39. 雷 の 話	中谷宇吉郎	80. 恩讐の彼方	菊地寛
40. 宇 宙	鏑木政岐	81. トム・ソーヤの冒険	トウェーン
		82. 若草物語	オルコット
		83. 宝 島	スティブンソン
		84. レ・ミゼラブル	ユ ー ゴ ー

一 般 研 究

85. アンクルトムの小屋	ス ト ウ	93. アンネの日記	フランク・アンネ
86. アンデルセン童話集	アンデルセン	94. ふたりのロッテ	ケストナー
87. クリスマス・キャロル	ディケンズ	95. 赤毛のアン	モンゴメリー
88. あしながおじさん	ウェブスター	96. アーサー王物語	グリーン
89. クレオ物語	アミーチス	97. チップス先生さようなら	ヒルトル
90. ガリヴァ旅行記	スウィフト	98. シェクスピア物語	ラム
91. にんじん	ルナール	99. 森は生きている	マルジャーク
92. ロビンソンクルーソー	デフォー	100. シャーロックホームズの冒険	コナン Doyle

良 書 百 選 (高校の部) 1961.7.20

名古屋大学教育学部附属図書館

書 名 著 者	書 名 著 者
哲 学・宗 教	34. 日本経済入門 長 洲 一 二
1. ものの見方について 笠 信 太 郎	自 然 科 学
2. 哲学入門 三 木 清	35. 地球の伝説 ガモフ全集
3. 近代の思想 高 桑 純 夫	36. 太陽の誕生と死 //
4. 人生ノート 三 木 清	37. 不思議の国のトムキンス //
5. 自由と責任についての考察 広 津 和 郎	38. 一二三……無限大 //
6. 現代仏教入門 増 谷 文 雄	39. あゆの話 宮 地 伝 三 郎
7. 親 鸞 龜 井 勝 一 郎	40. 化学繊維 井 本 稔
8. 聖書入門 山 谷 省 吾	41. 物理学入門 武 谷 三 男
9. ギリシャ神話 吳 茂 一	42. 人類の起源 清 野 謙 次
10. 愛と認識の出発 倉 田 百 三	43. 如何に問題を解くか ホ リ ヤ
11. 三太郎日記 阿 部 次 郎	44. 幾何の生い立ち 橋 本 純 次
12. 孔 子 貝 塚 茂 樹	45. 零の発見 吉 田 洋 一
13. きけわだつみの声 戦 没 学 生 手 記	46. 地球の歴史 井 尻 正 二
14. 菊 と 刀 ベ ネ デ ク ト	47. 日本列島 //
15. 風 土 和 辻 哲 郎	48. 物とはなにか ブ ラ ッ ク
歴 史・地 誌	49. 原子力と原子時代 ワ イ ゼ ッ カ ー
16. 世界の歴史 中 央 公 論 社	50. 自然と人間とのたたかい イ リ ン
17. 物語日本史 毎 日 新 聞 社	芸 術・語 学
18. 万葉の時代 北 山 茂 夫	51. 音楽を語る 野 村 光 一
19. 昭和史 遠 山 茂 樹	52. 日本美の再発見 ブルノー・タウト
20. 纏足を解いた中国 バ ー チ ェ	53. 印象派時代 福 島 繁 太 郎
21. 偉大への道 ス メ ド レ ー	54. ロダンの言葉 成 田 重 郎
22. 漢の武帝 吉 川 幸 次 郎	55. 古寺巡礼 和 辻 哲 郎
23. キュリー夫人伝 エ ー ヴ キ ュ リ ー	56. 歌舞伎手帳 戸 板 康 二
24. 自 叙 伝 河 上 肇	57. エヴェレスト登攀記 モ ラ ン
25. わが思想の生活より シ ュ ヴ ァ イ ツ ァ ー	58. 登山教室 海 野 治 良
26. イエスの生活 シ ュ ヴ ァ イ ツ ァ ー	59. KWAIDAN L. HEARN
27. ダーウィン伝 駒 井 卓	60. TALES FROM SHAKE-SPEARE C. LAMB
28. ミケランジェロ 羽 仁 五 郎	61. 日 本 語 金 田 一 春 彦
29. ベントーベンの生涯 ロ マ ン ロ ラ ン	62. 論文の書き方 清 水 幾 太 郎
30. 南極越冬記 西 堀 栄 三 郎	文 学
社 会 科 学	63. 門 夏 目 漱 石
31. 高 校 生 竹 田 友 三	64. それから //
32. 資本主義経済の歩み ヒ ュ ー パ ー マ ン	65. 道 標 宮 本 百 合 子
33. 日本の憲法 長 谷 川 正 安	

学校図書館の奉仕活動の実践

66. 河 童	芥川竜之介	84. 車輪の下	ヘ ッ セ
67. 五重塔	幸田露伴	85. 嵐ヶ丘	ブ ロ ン テ
68. たけくらべ	樋口一葉	86. 罪と罰	ドフトイエフスキー
69. 暗夜行路	志賀直哉	87. 復活	トルストイ
70. 土	長塚節	88. アンナカレーニナ	ク
71. 出家とその弟子	倉田百三	89. チボ一家の人々	デューガール
72. 武蔵野	国木田独步	90. 魅せられたる魂	ロマンロラン
73. 浮雲	二葉亭四迷	91. 赤と黒	スタンダール
74. 宣言	有島武郎	92. デヴィッド・カップフィールド	ディケンズ
75. 夜明け前	島崎藤村	93. レ・ミゼラブル	ユ ー ゴ ー
76. 真空地帯	野間宏	94. 自由への道	サルトル
77. 音高く流れぬ	村上信彦	95. 父と子	ツルゲーネフ
78. 天平の薨	井上靖	96. ハムレット	シェクスピア
79. 狭き門	ジ ー ド	97. カラマーゾフの兄弟	ドフトイエフスキー
80. ジェン・エア	ブ ロ ン テ	98. 怒りのぶどう	スタインベック
81. 幻滅	バルザック	99. 阿Q正伝	魯 迅
82. ジャン・クリフトフ	ロマンロラン	100. 新エロイーズ	ル ソ ー
83. 女の一生	モーパッサン		